横尾小学校便り
みがけ心、きたえ体
横尾っ子だより
令和４年度　第１４号　R4.9.8（木）
～かしこく　やさしく　たくましく～
文責　校長　河野正勝

２学期がスタートしました。

４２日間の夏休みが終わり、２学期がスタートしました。行動制限がない夏休みにはなったものの、常に感染症対策を意識した生活であったことと思っています。しかし、子どもたちはそれぞれ、夏の楽しい思い出を胸に、笑顔で登校してきています。

始業式では、「幸せな横尾小学校」を２学期の目標にしようと話しました。子どもたちはもちろん、保護者の皆様、地域の皆様、本校職員も含め、横尾小学校にかかわるすべての人が幸福になるように頑張ろうと思っています。

そのためには、本校のめざす子ども像である「かしこく　やさしく　たくましい　横尾っ子」に近づくことが一番の方法であることを伝え、具体的に次のことを頑張るように話しました。

・「かしこく」なるために、２学期は、授業と家庭学習を頑張って「かしこく」なること。学校で学んだことを家で振り返る、そして、また、次の日、学校で新しいことを勉強し、家で振り返るという習慣をつけていくこと。

・「やさしく」なるために、あいさつと言葉遣いに気をつけて「やさしく」なること。地域の方々、先生方、お客さま、友達同士等、あいさつがいっぱいの横尾小にしていくこと。そして、友達が嫌な思いをすることなく、嬉しくなるような言葉をたくさん使っていくこと。

・「たくましく」なるために、どの学年も行事や学校の外で学習することもたくさんあるため、最後まで何事もあきらめずに頑張るという気持ち、心を育てていき「たくましく」なること。

２学期よりレベルアップした「かしこく　やさしく　たくましい」横尾っ子になることができれば、「幸福な横尾小学校」になる。皆さんが、毎日安心して、笑顔で登校できる横尾小学校にすることが、私の一番の目標であること。２学期も、笑顔いっぱいの横尾小学校にしていきましょうと結びました。

１学期の終業式や夏休みの登校日に、９月１日に元気に会いましょうと言っていた私自身がコロナに感染し、自宅からリモートで話をすることとなりました。自分がその立場になって、様々な面でどれだけこの病気が大変かということが改めてわかりました。２学期も、感染症対策をしっかり行いながらの学校生活になることが予想されます。一人ひとりの意識を高めていきたいと思います。

児童代表の言葉

始業式の児童代表の言葉は、１年生と３年生の子どもたちが、夏休みの思い出と２学期に頑張りたいことを中心に発表しました。発表の内容を紹介します。リモートでの発表になりましたが、４人とも、はきはきと発表することができました。

［１年１組　Y.N　さん］

夏休みは、毎朝、起きたらすぐに新聞をポストに取りに行く手伝いを頑張ったこと。忘れずにできたので、これからも続けていきたいということ。２学期に頑張りたいことは、初めて習う漢字を全部覚えて、きれいに書けるようになることと図工の絵や版画で素敵な作品を作ること。

［１年２組　A.F　さん］

夏休みは、剣道の試合で演武に出ることができたこと。少しドキドキしたけど、たくさん練習したので、間違えずに楽しくできたこと。２学期に頑張りたいことは、算数と国語を頑張って、苦手な片仮名とひき算を勉強したいこと。最後までしっかり頑張りたいということ。

［３年１組　K.T　さん］

夏休みの思い出は、学童で海と恐竜パークに行ったこと。海ではビー玉を探す宝探しをして、自分のチームが１位になって、うれしかったこと。２学期に頑張りたいことは、漢字を１日２ページ書いて覚えることと相手も自分も気持ちよくなるように元気よくあいさつをすること。

［３年１組　Y.U　さん］

夏休みの思い出は、お泊りに行って海でウェイクボードに乗ったこと。最初は不安だったけど、乗ることができてうれしかったこと。プールで宝探しもしたこと。２学期に頑張りたいことは、地域の人にも自分からあいさつをすることと自分が嫌なことは人にしないこと。そして、元気に毎日登校すること。